

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果〔湧水町〕

湧水町教育委員会

I 令和6年度全国学力・学習状況調査の実施概要

調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、

- 全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査概要

- ◆ 調査日時：令和6年4月18日（木）
- ◆ 調査事項：① 児童生徒：教科調査〔国語，算数（数学）〕，質問調査
② 学 校：質問調査
- ◆ 調査問題
 - ・ 学習指導要領で育成を目指す，知識及び技能や思考力，判断力，表現力等を問う問題を出題。
 - ・ 各大問において「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善のメッセージを発信。
- ◆ 今年度の調査の特徴
 - ・ 児童生徒質問調査について，全面的にオンラインによる回答方式で実施。

教科に関する調査結果概要

- ◆ 湧水町・鹿児島県・全国（国公私）の平均正答数・平均正答率

		小学校		中学校	
		国語	算数	国語	数学
令和6年度	湧水町	9.0/14問 64%	9.9/16問 62%	7.7/15問 52%	7.4/16問 46%
	県 (公立)	9.6/14問 69%	10.0/16問 62%	8.4/15問 56%	8.0/16問 50%
	全国 (公立)	9.5/14問 67.7%	10.1/16問 63.4%	8.7/15問 58.1%	8.4/16問 52.5%
令和5年度	湧水町	9.6/14問 69%	9.6/16問 60%	9.7/15問 65%	5.6/15問 37%
	県 (公立)	9.4/14問 67%	9.8/16問 61%	10.5/15問 70%	7.2/15問 48%
	全国 (国公私)	9.4/14問 67.4%	10.0/16問 62.7%	10.5/15問 70.1%	7.7/15問 51.4%

Ⅱ 教科に関する調査結果〔 小学校国語 〕

問題作成のポイント

学習指導要領で育成を目指す資質・能力を踏まえ、測定しようとする資質・能力を発揮することが求められる言語活動を展開する文脈を重視している。今年度は、

- 「書くこと」について、目的や意図に応じて、自分の考えが伝わるように書き出し方を工夫することができるかどうかをみる問題を出題した。
- 令和5年度までの調査で課題が認められた内容（情報と情報の関連付けなど）について状況を確認するため、問題（大問2－（2））を出題した。

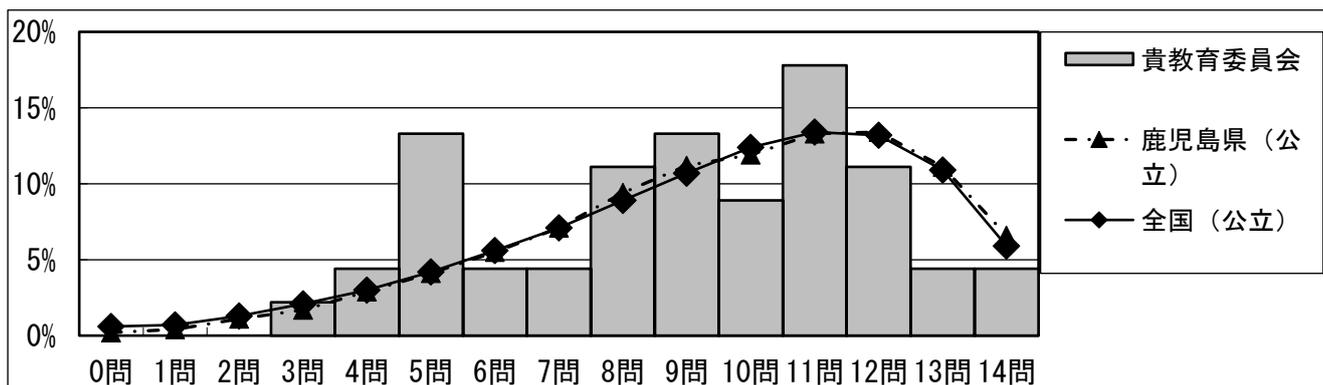
結果のポイント（全国）

- 【PP. 5－6】多くの児童が取り組んでいる記述問題もあるが、目的や意図に応じて、自分の考えが伝わるようにするための書き出し方の工夫に課題がある。伝えたいことを明確にし、客観的な事実を取り上げることで考えをより深めていくことができるようにする指導の充実が大切である。
- 【P. 7】人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができている。
- 【P. 8】情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解することができている。

〈分類・区別集計結果〉

分類	区分	令和6年度			令和5年度			
		平均正答率(%)			平均正答率(%)			
		湧水町	県 (公立)	全国 (公立)	湧水町	県 (公立)	全国 (公立)	
全 体		64	69	67.7	69	67	67.2	
学習指導要領の内	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	66.7	67.2	64.4	75.3	68.7	71.2
		(2) 情報の扱い方に関する事項	77.8	86.2	86.9	51.6	62.7	63.4
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	82.2	74.5	74.6			
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	57.8	58.7	59.8	81.3	73.5	72.6
		B 書くこと	63.3	69.5	68.4	26.6	29.1	26.7
		C 読むこと	56.3	72.3	70.7	70.3	72.3	71.2
評価の観点	知識・技能	71.1	71.6	69.8	68.5	67.0	68.9	
	思考・判断・表現	58.6	66.5	66.0	68.8	66.7	65.5	
	主体的に学習に取り組む態度							
問題形式	選択式	66.2	69.6	69.9	72.9	72.6	73.6	
	短答式	57.8	63.1	59.7	68.8	59.5	62.7	
	記述式	58.9	69.6	64.6	55.7	54.3	51.1	

〈小学校国語の児童の正答数分布グラフ〉



Ⅱ 教科に関する調査結果〔 中学校国語 〕

問題作成のポイント

学習指導要領で育成を目指す資質・能力を踏まえ、測定しようとする資質・能力を発揮することが求められる言語活動を展開する文脈を重視した。今年度は、

- 言語活動の充実が図られてきている状況を踏まえ、話し合いでの発言や文章から目的に応じて必要な情報を取り出したり、目的に応じて文章を工夫して書いたりすることができるかを問う問題を複数出題した。

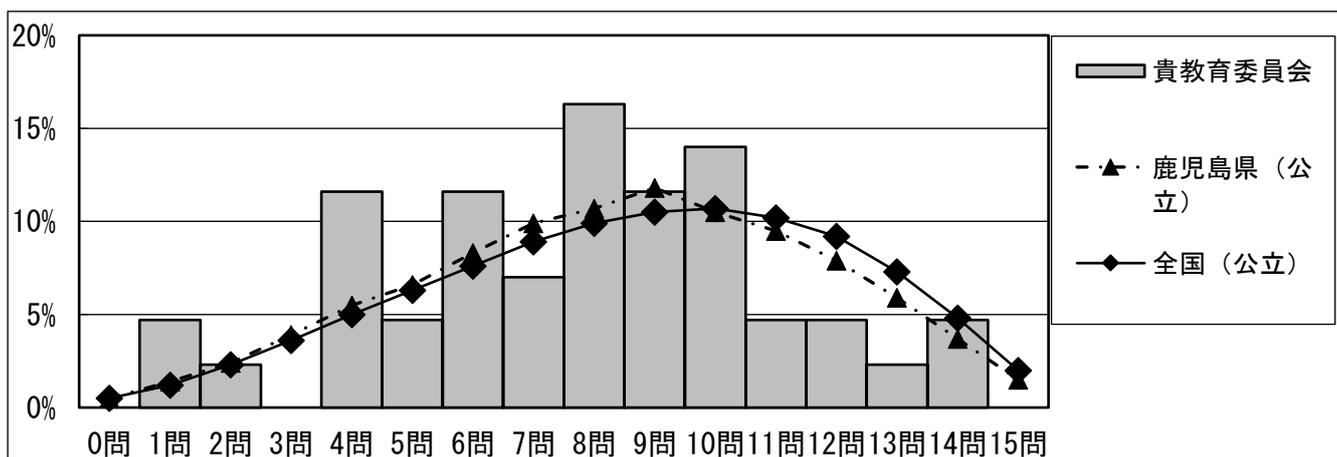
結果のポイント（全国）

- 【PP.10-12】多くの生徒が取り組んでいる記述問題もあるが、目的に応じた内容になっていない解答も見られる。自分が表現した内容を確認し、目的に照らし合わせて改善することができるよう指導することが大切である。
- 【P.13】文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することに課題がある。図表がある場合とない場合を比較し、考えたことを説明し合うことで、筆者が図表などを用いた意図を考えることができるように指導することが有効である。

〈分類・区分別集計結果〉

分類	区分	令和6年度			令和5年度			
		平均正答率(%)			平均正答率(%)			
		湧水町	県 (公立)	全国 (公立)	湧水町	県 (公立)	全国 (公立)	
全 体		52	56	58.1	69	67	67.2	
学習指導要領の内	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	49.6	56.6	59.2	75.3	68.7	71.2
		(2) 情報の扱い方に関する事項	62.8	58.9	59.6	51.6	62.7	63.4
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	74.4	79.6	75.6			
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	45.0	53.4	58.8	81.3	73.5	72.6
		B 書くこと	66.3	66.0	65.3	26.6	29.1	26.7
		C 読むこと	39.5	45.2	47.9	70.3	72.3	71.2
評価の観点	知識・技能	58.1	61.2	62.0	68.5	67.0	68.9	
	思考・判断・表現	47.3	52.6	55.4	68.8	66.7	65.5	
	主体的に学習に取り組む態度							
問題形式	選択式	56.3	59.2	61.0	72.9	72.6	73.6	
	短答式	51.2	59.2	61.8	68.8	59.5	62.7	
	記述式	38.0	43.3	45.5	55.7	54.3	51.1	

〈中学校国語の生徒の正答数分布グラフ〉



Ⅱ 教科に関する調査結果〔 小学校算数 〕

問題作成のポイント

学習指導要領で育成を目指す資質・能力を踏まえ、「事象を数理的に捉え、算数の問題を見だし、問題を自立的、協働的に解決する過程を遂行する」という数学的活動を行う文脈を重視した。

- 図形や割合、データの活用などにおいて、過去の調査で課題が見られた内容の学習状況を確認する問題を出題した。
- 立体図形について、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方や図形の性質について考察できるかどうかを問う問題を出題した。
- 日常生活の問題を解決するために、示された場面を解釈し、数量の関係について考察できるかどうかを問う問題を出題した。

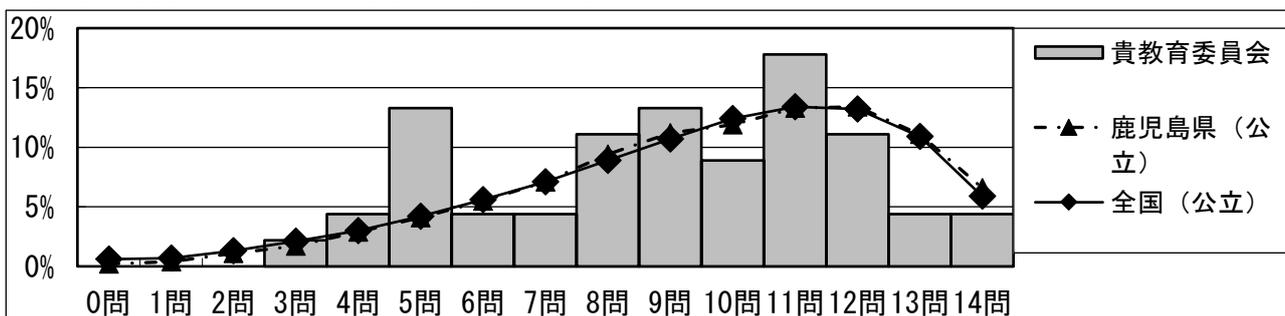
結果のポイント（全国）

- 【PP. 16－18】図形について基礎的・基本的な知識・技能は身に付いているが、深い理解を伴う知識の習得やその活用には課題がある。図形を構成する要素を見だし、活用できるように指導することが大切である。
- 【PP. 19－20】速さを道のりと時間の関係から捉えることはできているが、速さの意味について理解することに課題がある。速さなど単位量当たりの大きさの意味や表し方を理解するとともに、場面や目的に応じて比べ方を考察し日常生活に生かせるように指導することが大切である。
- 【P. 21】折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを記述することに課題がある。グラフを読み取り、見いだしたことを表現できるように指導することが大切である。

〈分類・区分別集計結果〉

分類	区分	令和6年度			令和5年度		
		平均正答率(%)			平均正答率(%)		
		湧水町	県	全国	湧水町	県	全国
	全体	62	62	63.4	60	61	62.5
学習指導要領の領域	A 数と計算	59.3	63.8	66.0	65.6	65.4	67.3
	B 図形	69.4	66.3	66.3	46.1	47.8	48.2
	C 測定						
	C 変化と関係	46.7	49.6	51.7	64.8	68.3	70.9
	D データの活用	62.8	62.1	61.8	65.1	66.6	65.5
評価の観点	知識・技能	69.1	70.6	72.8	64.2	65.7	67.2
	思考・判断・表現	52.7	52.0	51.4	54.2	56.0	56.5
	主体的に学習に取り組む態度						
問題形式	選択式	68.9	71.7	75.3	48.1	55.4	57.7
	短答式	60.0	61.4	62.0	75.4	73.2	74.7
	記述式	56.7	52.9	51.0	47.3	48.6	47.3

〈小学校算数の児童の正答数分布グラフ〉



Ⅱ 教科に関する調査結果〔 中学校数学 〕

問題作成のポイント

学習指導要領で育成を目指す資質・能力を踏まえ、「事象を数理的に捉え、数学の問題を見だし、問題を自立的、協働的に解決する過程を遂行する」という数学的活動を行う文脈を重視した。

- 大問1～5では、数学の学習過程において問題発見・解決する際の、ある局面に限定した問題を出題した。
- 大問6～9では、数学的活動を行う文脈を重視し、設定された場面において問題を数学的に解決する問題を出題した。

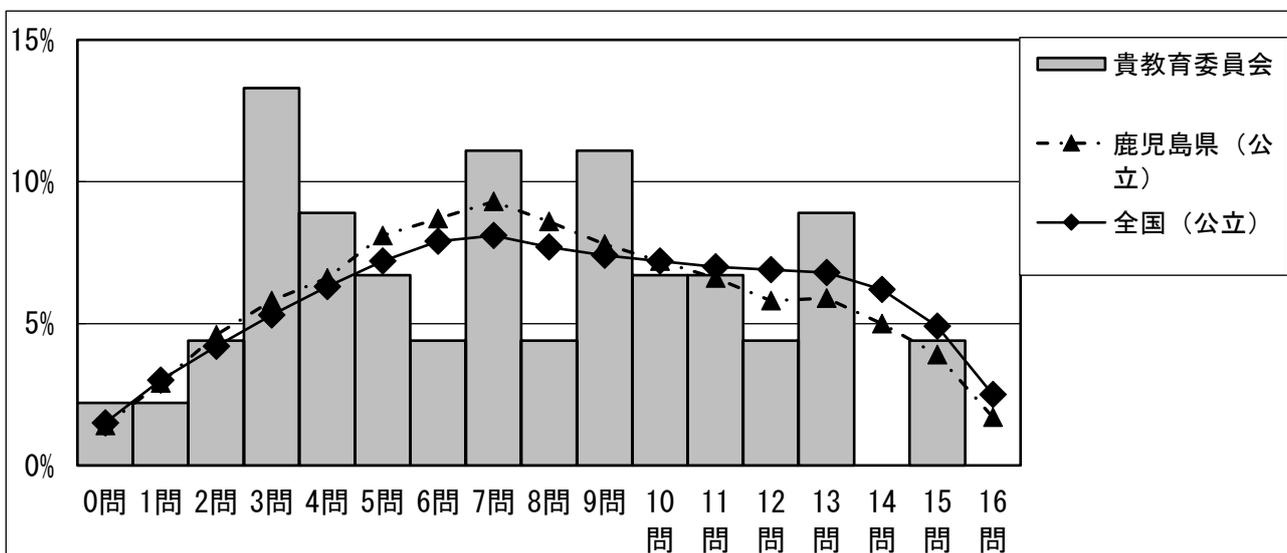
結果のポイント（全国）

- 【PP. 23～25】一次関数について、基礎的・基本的な知識・技能は身に付いていると考えられるが、問題解決の過程を数学的な表現を用いて説明することに困難がみられる。問題解決する場面を設定し、表、式、グラフなど数学的な表現を用いて説明できるように指導することが大切である。
- 【PP. 26】データの分布の傾向を比較して読み取り、判断の根拠を箱ひげ図の箱の位置や四分位数などを用いて説明することに課題がある。複数の集団のデータの分布の傾向を比較するなどの活動を通して、判断の根拠を数学的な表現を用いて説明できるように指導することが大切である。

〈分類・区分別集計結果〉

分類	区分	令和6年度			令和5年度		
		平均正答率(%)			平均正答率(%)		
		湧水町	県	全国	湧水町	県	全国
全体		46	50	52.5	37	48	51.0
学習指導要領 の領域	A 数と式	38.2	47.9	51.1	49.6	61.2	63.0
	B 図形	37.0	36.2	40.3	17.3	27.9	33.2
	C 関数	57.2	58.8	60.7	40.2	47.6	51.2
	D データの活用	51.1	54.3	55.5	31.5	46.1	48.5
評価の観点	知識・技能	56.4	60.5	63.1	41.3	52.5	55.7
	思考・判断・表現	23.1	26.9	29.3	28.6	38.6	41.6
	主体的に学習に取り組む態度						
問題形式	選択式	56.0	56.4	58.5	27.2	40.8	45.3
	短答式	56.7	64.0	67.0	50.6	60.4	62.6
	記述式	23.1	26.9	29.3	28.6	38.6	41.6

〈中学校算数の児童の正答数分布グラフ〉



Ⅲ 質問紙調査結果（児童生徒、学校） ※ 最も肯定的な回答の割合

① 主体的・対話的で深い学びの視点から

校種	番号	質問事項	町	県	全国
小	20	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。 【自己調整力】	30.4	29.8	30.3
中			25.0	26.8	28.2
小	29	自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか。 【主体的な学び】	28.3	22.2	25.9
中			22.9	16.6	22.2
小	30	授業では、課題の解決に向けて、自分から取り組んでいましたか。 【主体的な学び】	26.1	27.6	29.5
中			16.7	24.1	27.2
小	33	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。 【対話的な学び】	41.3	40.0	41.4
中			37.5	34.5	36.4
小	31	授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。 【深い学び】	28.3	28.8	29.7
中			14.6	20.9	24.7

② 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の視点から

校種	番号	質問事項	町	県	全国
小	32	授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていますか。 【個別最適な学び】	39.1	36.0	34.4
中			12.5	21.8	24.9
小	17	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。 【協働的な学び】	30.4	30.8	30.3
中			29.2	28.4	30.3

③ 「学びに向かう力、人間性等」の視点から

校種	番号	質問事項	町	県	全国
小	9	自分には、よいところがあると思いますか。 【自己肯定感】	41.3	36.8	43.4
中			31.3	36.0	40.4
小	10	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。 【自己肯定感】	60.9	44.9	48.8
中			45.8	38.9	44.2
小	34	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。 【省察力（振り返り）】	30.4	33.4	31.9
中			22.9	26.1	27.1
小	35	授業で学んだことを次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか。 【自己調整力】	43.5	35.8	35.9
中			22.9	26.2	27.5

④ 「魅力ある学校づくり」の視点から

校種	番号	質 問 事 項	町	県	全国
小	16	学校に行くのは楽しいと思いますか。	65.2	51.6	47.2
中			54.2	46.3	43.5
小	18	友達関係に満足していますか。	65.2	64.2	62.4
中			62.5	56.2	55.0
小	19	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。	54.3	49.6	50.8
中			41.7	42.8	44.6
小	44	国語の授業の内容はよく分かりますか。	34.8	36.6	39.2
中			41.7	27.8	32.0
小	52	算数（数学）の授業の内容はよく分かりますか。	47.8	45.6	44.9
中			14.6	32.5	35.1